

平成 13 年度

# 大学情報化職員基礎講習会

開 催 要 項

平成 13 年 7 月 11 日 ~ 13 日

社団法人私立大学情報教育協会  
研 修 運 営 委 員 会

平成 13 年度・私情協研修等事業
-------------------

- |      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 7 月  | 大学情報化職員基礎講習会                        |
| 8 月  | 学内 LAN 運用管理講習会<br>授業情報技術講習会(東京, 大阪) |
| 9 月  | 情報センター等部門研修会                        |
| 10 月 | 大学情報化職員研修会                          |
| 11 月 | 事務部門管理者講習会                          |

## 1 . 基礎講習会の目的

この講習会は、情報技術を活用して教育研究に関する情報、管理運営に関する情報を職員がそれぞれの立場で活用し、大学本来の使命である人材育成に役立てられるよう、情報化の視点から大学改革を推進するための基礎知識と情報活用能力を修得することを目的とします。

なお、本年度より、講習会の目的を職員全員の情報活用能力の育成にあらためることにより、従来の「事務システム基礎講習会」を改組し、新たな講習会として開催します。

## 2 . 受講対象者

加盟大学・短期大学の職員で、大学における情報化の概要・基礎知識の修得を希望する方、および、情報化推進に関わる業務に携わる新人職員を対象とします。

一般基礎コース ……大学におけるIT活用について基礎知識の修得を希望される方  
ITコーディネータ基礎コース ……情報部門・企画部門等で情報化推進に携わる新人の方

既に基礎知識を修得されている方、又は個別の業務・テーマに関する知識・考え方の修得を希望する方は、10月に開催の「大学情報化職員研修会」に参加下さい。業務別、テーマ別に討議を中心とする研修を行います。

## 3 . 講習内容

情報化の視点から教育研究の改革を推進するために必要な考え方、戦略の立て方、環境・体制作りの進め方、業務改革の具体事例、留意すべき事項などについて、主として講義形式で学習します。なお、パソコン等による個人実習は行いません。また、講師は、研修運営委員会が選出したこの分野で経験豊富な私立大学の管理職相当の方が担当します。

### 1) 共通講習内容

全体講演会 「いま何故、大学の情報化なのか」

共通講義 「大学の情報化とは？」

- ・ 転機を迎えた高等教育政策：大学審議会答申の骨子
- ・ 日本の大学を取り巻く情勢：欧米の大学のアジア戦略、教育産業の変化
- ・ 変わらざるを得ない教育スタイル：学びのニーズの変化
- ・ インターネット時代における学術情報流通：研究スタイルの変化
- ・ 新たな職員像：事務屋からコーディネータへ

### 2) コース別講習内容

一般基礎コース

大学におけるこれからの情報システム

- ・ これまでの情報システム、これからの情報システム
- ・ ITの動向：コンピュータとインターネットの近未来像

ITを活用した教育研究活動の高度化と業務改革

- ・ 学内の環境整備：使える技術と使わせるしくみ
- ・ 学生への新たな教学支援のしくみ
- ・ データ処理から情報共有へ、情報共有から知識共有へ

情報公開と情報保護

- ・情報公開法と個人情報保護
- ・デジタル化と知的所有権
- ・セキュリティーポリシーと運用

#### ITコーディネータ基礎コース

##### 大学における情報化戦略の企画

- ・ITの動向：コンピュータとインターネットの近未来像
- ・先進事例に学ぶ教育・研究支援のための情報化モデル
- ・自己評価とギャップ分析からプランニングへ

##### システム構築とプロジェクト管理

- ・規模、体制に応じたシステム構築手法の選択
- ・成功するプロジェクトとは？失敗するプロジェクトとは？
- ・ITコーディネータとしての情報部門の役割

##### 運用サービスとアウトソーシング

- ・安定的運用とサービス拡大
- ・効果的なアウトソーシング
- ・機器の管理からサービスレベルの管理へ

## 4．事例紹介

大学におけるこれからの情報インフラ整備のあり方について理解を深めるため、会員大学、賛助会員などによる事例紹介、技術動向の解説などを行います。

## 5．日 程

平成13年7月11日(水)～7月13日(金)

2泊3日間の合宿形式となります。

## 6．参加資格

加盟大学・短期大学の職員。

## 7．募集定員

250名程度（一般基礎コース 200名、ITコーディネータ基礎コース 50名）

\*参加希望者多数の場合には、会場の都合により参加者を調整することがあります。

## 8．参加費

20,000 円（宿泊費は含まれません）

## 9．開催会場および宿泊

本講習会は合宿研修のため、参加者は全員下記ホテルへ宿泊していただきます。

（原則ツインルームで部屋割りは当方で決めさせていただきます。）

### グランドホテル浜松

静岡県浜松市東伊場1-3-1 TEL: 053-452-2111

交通：東海道新幹線「浜松駅」下車。

- \* 行き帰りの浜松駅よりホテルまでは送迎バスを用意いたしますので、利用下さい。
- \* バスの発車時刻、集合場所等については後日連絡いたします。
- \* 送迎バスを利用されない場合は、タクシーを利用下さい。

宿泊費 26,000 円(税込) (2泊5食、最終日の昼食代は含まれません)

\* 宿泊費の支払いは、開催第1日目に参加者個人別にホテルへお支払いください。

## 10. 申込方法

6月20日(水)までに、「参加申込書」を各大学で一括してとりまとめの上、下記宛郵送下さい。  
(参加申込者についての必要事項は必ず全員分記入して下さい。)

送付先 〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 No.1 山崎ビル 4F  
社団法人 私立大学情報教育協会事務局

## 11. 参加者確定通知

参加者確定通知は6月末に事務連絡者宛に郵送あるいはFAXにてお送りいたします。

## 12. 参加費の支払

参加費は、参加者確定通知を受領後7月6日(金)までに、大学ごとに一括して銀行振込によりお支払い下さい。(参加費の振込先は参加者確定通知にてお知らせします。)

## 13. 推薦図書

講習を受ける際に、用語等の知識について不十分と思われる方は、コンピュータやネットワークに関する用語集を持参下さい。図書名は特に問いません。なお、推奨図書として以下のものがあります。

情報・通信新語辞典	(日経BP社)
日経パソコン新語辞典	(日経BP社)
わかりやすいコンピュータ用語辞典	(東京, ナツメ社)
祝入門コンピュータ辞典	(ソフトバンク出版事業部)
ラジカルなコンピュータ用語辞典	(ソフトバンク出版事業部)
最新コンピュータ辞典	(西東社)

## 基礎講習会日程表

	1日目 7月11日(水)	2日目 7月12日(木)	3日目 7月13日(金)
7:00		朝食	朝食 チェックアウト
9:00		コース別講義1	コース別講義 3
11:00		移動・休憩	閉会式
11:30		技術動向解説・事例紹介 (大学事例紹介)	11:45 終了予定
12:00	受付	昼食	12:30
13:00	開会式 全体会  基調講演	コース別講義2	13:30
14:45	移動・休憩		
15:15	共通講義	移動・休憩	15:30
17:15	チェックイン	技術動向解説・事例紹介 (企業技術紹介) 展示・解説を含みます	16:00
18:00	夕食	夕食・懇親会	18:00
	フリーディスカッション		19:30

プログラムは都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

# 概 要

## ． 全 体 会

### 基調講演

#### 「いま何故、大学の情報化なのか」

大学は、教育研究の充実向上を図るため、不断の改革を進めることが必然となっており、自己点検・評価を通じて常に現状を見直し、大学としてあるべき姿を掲げ、改革の可能性を見定めることが要請されている。真に社会の要請に応えていくためには、先ず、自からの大学を構成する教職員が、自大学の実状を知り、構成員一人一人が大学の掲げる教育研究目標と現状とのギャップを共通理解し、改革の方向性を一致できるようにしなければならない。そして職員は、いままでの業務を教育研究支援の立場から見直し、教員と一丸となって教育研究目標の達成に取り組むことが必要となる。また、大学は、自からの教育研究活動を紹介・説明することが社会から要請されている。とりわけ、国から補助金を受けている私立大学にあっては、国民に補助金活用の効果など、教育研究活動の状況を積極的に説明し、理解を得るための説明責任( アカウンタビリティ )がある。

それには、構成員一人一人が教育研究支援を考えるための情報を持つことが必要であり、学内はもとより国内外の他大学も含めて必要な情報をネットワークを介して収集できるとともに、積極的な情報の発信が可能となる体制や情報の取り扱いなど、総合的な環境の整備が重要である。

## ． 講 義

( 1 ) 共通講義 . . . . 各コース共通のプログラムで、全体会に引き続いて行います。

### 大学における情報化とは？

本講義では、全体講演会の内容を受けて、これからの大学における情報化のあるべき姿とそのための環境整備について、考え方、問題・課題を整理し、背景となる制度や技術と合わせてわかりやすく解説します。

[キーワード]

- ・ 転機を迎えた高等教育政策：大学審議会答申の骨子
- ・ 日本の大学を取り巻く情勢：欧米の大学のアジア戦略、教育産業の変化
- ・ 変わらざるを得ない教育スタイル：学びのニーズの変化
- ・ インターネット時代における学術情報流通：研究スタイルの変化
- ・ 新たな職員像：事務屋からコーディネータへ

(2) コース別講義 . . . . 共通講義終了後、各コースに分かれて行います。

## 一般基礎コース

### 大学におけるこれからの情報システム

本講義では、これまでの教育・研究・事務それぞれのシステムの枠組みとその課題・問題点を示し、これからの情報システムのあり方について、基本的な考え方と背景となる情報通信技術の動向を、国内外の先進事例を交えて解説します。

[キーワード]

- ・これまでの情報システム、これからの情報システム
- ・ITの動向：コンピュータとインターネットの近未来像

### ITを活用した教育研究の高度化と業務改革

ITの活用により教育研究を高度化することの可能性について解説するとともに、管理運営の視点から、教育研究の高度化を支援する情報システムのあり方や、それを活用した業務改革について具体例を交えて解説し、自大学における改革の有り様について考える機会にしたいと考えます。

[キーワード]

- ・学内の環境整備：使える技術と使わせるしくみ
- ・学生への新たな教学支援のしくみ
- ・データ処理から情報共有へ、情報共有から知識共有へ

### 情報公開と情報保護

インターネットの爆発的普及は、利便性の向上と同時に様々な問題を引き起こしています。また、情報公開法の施行に伴い、大学は、学内情報の公開について明確な方針を持ち、適切な運用が求められています。

本講義では、情報社会の特質に触れながら、学内で取扱われる情報の保護と教職員の情報に関わる意識向上について基本的な考え方を解説し、今後の課題について考えたいと思います。

[キーワード]

- ・情報公開法と個人情報保護
- ・デジタル化と知的所有権
- ・セキュリティポリシーと運用

## ITコーディネータ基礎コース

### 大学における情報化戦略の企画

本講義では、国内外の先進事例に関するケーススタディーを通して、大学の規模、特色に応じた情報化戦略を企画する上での考え方について解説します。

[キーワード]

- ・ITの動向：コンピュータとインターネットの近未来像

- ・先進事例に学ぶ教育・研究支援のための情報化モデル
- ・自己評価、自己分析からプランニングへ

## システム構築とプロジェクト管理

本講義では、教育研究活動に変化をもたらし、高度化を支援する情報システムを構築するための手法について、構築のための学内外の体制とその役割、プロジェクト管理を成功に導く留意点などを大学の規模などに応じていくつかのケースに分けて事例を交えて解説します。

[キーワード]

- ・規模、体制に応じたシステム構築手法の選択
- ・成功するプロジェクトとは？失敗するプロジェクトとは？
- ・ITコーディネータとしての情報専門の役割

## 運用サービスとアウトソーシング

全ての業務にコンピュータ、ネットワークの活用が普及する中で、運用支援は極めて重要となっておりますが、急激な技術の高度化・複雑化は、学内の体制で全ての技術支援に対応することを困難にしております。そこで、本講義では、最新の情報技術による教育研究支援を実現するため、これからの運用支援のあり方とアウトソーシングなど運用支援の質を維持する新たな方策について解説します。

[キーワード]

- ・安定的運用とサービス拡大
- ・効果的なアウトソーシング
- ・機器の管理からサービスレベルの管理へ

### 講師

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 浅見 光男 氏 | (東京電機大学 総合メディアセンターグループリーダー)       |
| 石黒 隆文 氏 | (青山学院大学 事務システム室係長)                |
| 石丸 勝也 氏 | (山梨学院大学 電算機センター課長)                |
| 岸田 陽一 氏 | (津田塾大学 情報システムサービス室室長)             |
| 杉町 宏 氏  | (立命館大学 教育研究事業部 BKC イノベーションセンター課長) |
| 山田 憲男 氏 | (日本女子大学 財務部電算課課長)                 |